

教師の体罰やしっ責によると思われる自殺

資料 3

文部科学省発表の児童生徒の自殺統計では、「教師のしっ責」を原因とする公立の小・中・高校の自殺者は、1994年小学生1人、1995年中学生1人で、1996年(平成8年)から2007年までずっとゼロになっています。しかし、新聞報道などをみると、教師の言動をきっかけとした自殺がいくつも報告(39例)されています。いじめ以上に、「子どもに非があったのだから仕方がない」と声をあげられない遺族がたくさんいることが予測されます。現実には、もっと多くの子どもたちが、教師の指導後に自殺をしていると思われるます。

一方、警察庁調べの「教師のしっ責」を原因とする自殺は、警察庁の自殺統計の学生生徒の原因別では、1978(昭和 53)年から 1987(昭和 62)年の 10 年間、「教師のしっ責」という項目がありました。毎年数字があがっていたにもかかわらず、1988 年から項目に「教師のしっ責」がなくなりました。

しかし、2007(平成 19)年から、「教師との人間関係」として復活しました。

また同年から、自殺統計原票を改正。遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上できるようになりました。

| | 男 | 女 | 計(全体に占める割合) |
|-----|---|---|-------------|
| 78年 | 3 | 1 | 4 (0.5%) |
| 79年 | 4 | 1 | 5 (0.5%) |
| 80年 | 3 | 0 | 3 (1.4%) |
| 81年 | 1 | 0 | 1 (0.2%) |
| 82年 | 2 | 0 | 2 (0.3%) |
| 83年 | 3 | 3 | 6 (0.9%) |
| 84年 | 2 | 0 | 2 (0.3%) |
| 85年 | 5 | 1 | 6 (1.1%) |
| 86年 | 2 | 0 | 2 (1.1%) |
| 87年 | 1 | 0 | 1 (0.2%) |

| | 警察庁調べ | | | | | | 文科省調べ |
|-----|-------|-----------|-----------|--------------|------|--------------|----------------|
| | 小 | 中 | 高 | 大 | 専修学校 | 計 | 小～高 |
| 07年 | 0 | 2 (男2) | 3 (男3) | 2 (男1、女1) | 0 | 7 (男6、女1) | 0 |
| 08年 | 0 | 2 (女2) | 1 (男1) | 0 | 0 | 3 (男1、女2) | 2 (中学1・高校1) |
| 09年 | 0 | 1 (男1) | 2 (男2) | 1 (女2) | | | 1 (高校1) |

※文部科学省調査の児童生徒の自殺の状況は、平成18年度から、いじめ調査と同様、国・私立学校も調査の対象になり、原因については複数回答になった。一方、それまで「教師のしっ責」とされていた項目が、「教職員との関係での悩み」に変更された。

教師の体罰やしっ責によると思われる自殺

2009/9/10 武田さち子作成更新

| 番号 | 年月日 | 教師の体罰や叱責による自殺(未遂を含む) | 有形暴力 |
|----|-----------|--|------|
| 01 | 1963/2/13 | 大阪府大阪市城東区の区立すみれ小学校の教室で授業中、男子児童Aくん(小6・12)が教室の窓から飛び降り自殺。 理科の時間に約2割の生徒が宿題を忘れ、女性教師(37)が、「Aくんは前日も忘れちゃったね。そんなに忘れるのなら一度、お家の人に学校に来てもらいます」と叱ったところ、真っ赤な顔をして頭をかかえ、すぐ横の窓から飛び降りた。 | なし |
| 02 | 1963/9/26 | 福岡県田川市の県立田川東高校の男子生徒Aくん(高3・17)が、担任教師(25)からの体罰の翌朝、自宅倉庫で首吊り自殺。「先生の仕打ちをうらむ。死んでも忘れない」との手紙を6通、友人に出していた。 自殺の前日、男子生徒は他のクラスメイト2人とともに授業中私語をしていて立たされたあと、職員室で人文地理の成績が悪いことをあわせて叱られた。それを見ていた担任教師が理由をただし、次の授業のため教室に戻ろうとするAくんだけを残して、他の非行事実の告白を求めたり、反抗的な態度に対して、「そんなことなら学校を辞めてしまえ」と叱責。他の教師も加わった。昼食をとらせず、授業にも出させず、反省を求めた。他の教師から喫煙やカンニングのことなども聞かされ、Aくんの頭を平手で数回殴打。明日、父親を出頭させるように言って、教室に帰っていた。 1977/10/25 1審～高裁で「担任教師の懲戒行為は限界を超えて違法」としながら、そのことと自殺との間に因果関係はないとし、懲戒行為の慰謝料だけを認める。 | あり |
| 03 | 1976/12/7 | 福島県田村郡三春町組合立要田中学校の知的障がいのある男子生徒Aくん(中3・14)が遺書に「学校がこわい」と19回も繰り返して、自宅近くの葉タバコ乾燥小屋の中で首吊り自殺。 学校で、公金と教師の貯金通帳と印鑑などが盗まれ、教師4人がAくんにも暴行を加えるなどして詰問。その後、犯人が見つかったが、Aくんは再び共犯を疑われ、「犯人の名前を書け」と責められていた。 校長は引責辞職、教頭と教諭1人が戒告、他の3人の教師は文書戒告処分を受けた。PTAは、事件に関係した教師の行政処分軽減の嘆願署名を集めた。Aくんは家族に殺害されたとの噂がたつ。(警察は「鑑定の結果、自殺に疑いはない」とする。) 1992/11 福島市在住の映画監督が、同事件を題材に映画「ザザンボ」を製作。「家族による他殺」を示唆する内容になっていた。また、土葬の墓を掘り返していたことも判明。 | あり |
| 04 | 1978/2/末 | 東京都の中福小学校で、いたずらで近所の窓ガラスをパチンコ玉で割った男子児童(小6)が、教師3人から厳しく詰問された直後、校舎3階の窓から飛び降り | なし |

| | | | |
|----|------------|--|----|
| | | <p>自殺をはかる。全治約8か月の重傷。</p> <p>民事裁判で、男子児童側は「教師ら3人が教室前の廊下でKくんを取り囲み、45分間にわたって、Kくに不利益な供述を強要した。特にT教師は、初めからKくんひとりで故意にこの事件を起こしたと決めつけ、Kくに弁解の機会を与えず、「ほんとうならここでぶっとばされても仕方ないんだぞ」「指紋をとれば犯人はすぐ分かるんだぞ」「おまえがしゃべらなければ、学校の体育館のガラスが割られた事件もお前のせいにするぞ」などと言った。さらにT教師は、Kくんのほうに体を寄せ、「お前がやったんだろう」と言いながら、Kくんの胸や腹を手拳で2、3回、後ろに倒れそうになるくらい強く突いた。」と主張。学校側は「情聴取の時間はせいぜい15分くらい。教師が「手を前に出した際、一度、手が原告(Kくん)の腹部に触れた」程度。」と主張。裁判所は教師側の言い分を認める。</p> <p>1982/2/16 東京地裁で棄却。児童の問題行動について事情聴取する際は人権侵害にならないように配慮すべきだが、本件事情聴取が違法な行為であるとまでは言えないとした。</p> | |
| 05 | 1978/10/31 | <p>東京都府中市の市立住吉小学校の教室で、女子児童(小4・9)が首吊り自殺。この日は給食調理員の時限ストで生徒たちは弁当を持参した。3時限目の授業が終わった休憩時間に女子児童が口をもぐもぐさせていたことから、男子児童2人が「弁当を食べたろう」とはやし立てた。女子児童は「食べていない」と言って、黒板消しで男児をたたき、筆箱や鉛筆を投げつけた。これを見た担任教師(28)に「そんな乱暴しちゃだめよ」と注意されていた。府中市は、学校管理下に発覚した事件であるため、「日本学校安全会」に遺族への死亡見舞金を申請</p> | なし |
| 06 | 1979/2/16 | <p>北海道苫小牧市の市立小学校の男児(小6・12)が、自宅風呂場で首吊り自殺。この日、学校で休み時間に、友人数人といたずらで火災報知器を鳴らし、教師から「いいか、悪いか、家に帰って考えろ」と叱られていた。</p> | なし |
| 07 | 1982/7/17 | <p>長崎県長崎市西彼杵郡外海町の町立神浦中学校の男子生徒(中3・14)が、自宅で自殺。1時間目の国語の授業で、教師(54)に、前日に出された宿題を「したけれど、できなかった」と申し出た。教師に往復4キロ、徒歩で往復1時間半かかる自宅にとりに行くよう言われて帰った。午前10時すぎになっても男子生徒が教室に戻らないので、自宅に電話したが連絡がとれず、校長や担任、国語の教師らが自宅に行き、祖母と一緒に探したところ、牛小屋2階の飼料小屋で首を吊って死んでいるのが発見された。遺体の横には「しぬ」と鉛筆で走り書きした国語のノートがあった。教師は宿題を他の生徒も忘れたかどうか確認せず、自ら申し出た男子生徒だけを叱り、ノートを取りに帰らせていた。</p> <p>1983/ 両親が、「先生の屈辱的なしかり方が自殺を招いた」として、外海町を相手どって1000万円の損害賠償を求めて提訴。</p> <p>1984/4/25 長崎地裁で、「担当教諭の行為と生徒の自殺との間に常識的に考えられる因果関係はなく、自殺を予見することも不可能だった」として棄却。</p> | なし |
| 08 | 1984/12/3 | <p>長野県北安曇郡松川村の村立松川中学校の尾山奈々さん(中3・15)が、自宅裏の物置の中で制服のまま首吊り自殺。自殺する前に学校と所属している英語クラブの顧問にあての「抗議文」を書いて教室の机の中に入れていた。</p> <p>顧問は英語クラブの活動を1年生の基礎からやり直す「授業」のような形でやろうとしていたが、奈々さんはクラブは授業とは同じ形にしないほしいと考えてい</p> | なし |

| | | | |
|----|------------|---|----|
| | | た。顧問はあくまでも方針を変えず、奈々さんは次第に反抗的態度を示すようになっていた。顧問は、他の生徒がいる前で、「あの子は前はあんな子じゃなかった。どうしてあんな子になってしまったんだろう。前のように良い子になるまで待つわ」と言っていた。奈々さんは、9月に入ってたびたび、「死」を口にだしていたが、友人たちは冗談だと受け止めていた。 | |
| 09 | 1985/2/16 | 神奈川県横浜市金沢区の小学校の杉本治くん(小5・11)が、「学校を破産させれば、勉強をしなくてもいいし、テストもなくなる」と言ったことを担任の女性教師から「将来、精神病院に行くようになる」などと言われて厳しく責められ、反省文を書かされたことに抗議して、団地の踊り場から飛び降り自殺。 | なし |
| 10 | 1985/3/23 | 岐阜県恵那市の岐阜県立中津商業高校の竹内恵美さん(高2・17)が、陸上部顧問教師(46)の暴力的シゴキや体罰を苦に自室の洋服ダンスにひもをかけて首吊り自殺。 1993/9/6 岐阜地裁で一部認容。教師の体罰の違法性を認め、岐阜県に計300万円の慰謝料支払い命令。ただし、自殺と体罰は、遠因ではあるが、直接の因果関係とまでは言えないとした。また、教師個人への賠償請求は認めなかった。確定。 | あり |
| 11 | 1989/3/13 | 香川県大野原町で、県立高校の男子生徒(高1)が、自宅近くのビニールハウス内で首吊り自殺。「反省日記」と題をつけたノートがあり、バイクの無免許運転で無期停学を受けたことを「とてもつらかった」と書いていた。 | なし |
| 12 | 1989/6/11 | 群馬県赤堀町で、男子生徒(中3)が、生徒指導の教師に喫煙が知れてしまったことから、「殺されるかもしれない」と厳しい指導を恐れて自殺。 夜、友人3人と、生徒指導の教師に喫煙が知れてしまったことを話し合い、男子生徒は「殺されるかもしれない。一緒に死のう」と友だちを誘っていた。 自宅のノートに、先生、家族、同級生に各1ページずつ計3ページの遺書が書かれていた。「先生へ」の遺書に、「一番きらいできにいない みんなもそういつている ころしてとかいっているけどかちめないし 先生は口で言えばわかることを どうしてなぐったりするんだろう そんなことをしなくてもいいのに そのことを考えるだけで やだ くそう」と生徒指導担当教諭が名指しにされていた。 | なし |
| 13 | 1991/11/12 | 福井県吉田郡永平寺町の特殊学級の男子児童(小6)が自宅近くの納屋で首吊り自殺。遺書はなかった。 男子児童は2、3日前、男性教師から「お前なんか死んでしまえ」と言われ、死ぬ前日にも友人から「首を吊ったらどうか」と言われていた。当日、友人に「死にたい」と漏らしていた | なし |
| 14 | 1992/2/22 | 東京都東久留米市の市立中学校から、体罰が原因で別の中学校に転校した女子生徒(中2)が自殺。 1991/6/ 前の学校の林間学校で、就寝時間の見回りにきた女性教師から、「注意に対して反抗的な態度をとった」として、Aさんは頬を強く殴られた。 1992/1/ 授業が始まって教室に戻らなかったことから、同教師に「じゃまだから、学校に来るな」と言われ、一緒に注意を受けた別の女子生徒と、頭と頭をぶつけられた。Aさんは、女性教師のことを慕っただけに投げかけられた言葉や体罰に強いショックを受けていた。その日から1週間、家出。帰宅後も、同教師の授業を嫌がったため、両親が転校させる。転校2日目に自殺。 | あり |

| | | | |
|----|------------|--|----|
| 15 | 1992/6/24 | <p>島根県益田市の市立東陽中学校で、岡崎一(はじめ)くん(中3・14)が、同級生らからいじめにあい、下級生が行った万引きを強要したのではないかと教師に疑われて、夕方、自宅近くの雑木林で首吊り自殺。</p> <p>担任教師らは、一くんが万引きを強制したのではないかと疑い、校内の放送室などで一対一で3日間にわたって厳しく調べた。</p> | なし |
| 16 | 1993/10/13 | <p>栃木県芳賀郡茂木町の町立茂木中学校の塩沢允孝くん(中3)が、公園の休憩所でビニールロープを使って、首吊り自殺。</p> <p>遺書に、「抗議として死の道を選ぶ。暴力を振るう先生と一緒にいたくない」「担任の先生に殴られた。気の弱い僕はプライドを傷つけられた。こんな先生を許すわけにはいかない。学校もおもしろくない。これ以上犠牲者を出したくない。この先生を許すことがないようにしてもらいたい。そうすれば学校は明るくなる」などと書かれていた。</p> <p>10/4 体育館でAくんは、担任の男性教師から生活や学習指導上の問題を理由に、顔面を4発殴られ、左目のうえにあざができていた。同教師は事件までの半年間に、Aくん以外の生徒に対しても、計8回の暴力をふるっていた。</p> <p>校長は、遺書が見つかった翌日も、「体罰が自殺の直接の原因とは断定しかねる」と発言。学校側は事件を隠し、1月以上たってから公表。体罰があったことは認めたが、その理由については「生徒のプライバシーにかかわるので明らかにできない」とのみ説明。両親に対しても、「授業態度が悪かったため」としか説明しない。学校事故報告書には、事件の発生や遺族、PTAへの対応は書かれていたが、体罰があったこと、それに対する抗議の自殺であることを示す遺書が残されていたことなどを教育委員会にも報告していなかった。</p> | あり |
| 17 | 1994/9/9 | <p>兵庫県龍野市立揖西小学校で、担任教師にぶたれた直後、内海平くん(小6・11)が自殺。</p> <p>同日、平くんが「運動会のポスターの絵、自分で考えたんでもええん」と質問したところ、教師は「3時限目に説明したやろ。何回同じことを言わすねん」と大声で怒鳴り、利き手の左平手で平くんの頭丁部を1回、続けて両頬を往復で1回殴打。教師は一旦、教卓のほうに戻りかけたが、その時、平くんが他の同級生の方を見て照れ笑いを浮かべたのを見て、馬鹿にされたと思い立腹して、再び平くんの正面に立って、「けじめつけんかい」と怒鳴りながら、再び、利き手の左平手で頭頂部を1回、続けて両頬を往復で1回殴打した。</p> <p>遺族が担任に事件当日の様子や心境について尋ねても、「わからない」「忘れた」と返答。死亡事故報告書には「事故による死亡(管理外)」原因・状況 不明」と書いてあり、県教委は平くんの事件を自殺者数に計上しなかった。</p> <p>2000/1/31 神戸地裁姫路支部で原告勝訴判決。教諭による体罰や暴行が自殺の原因として行政責任が認められたのは初めて。市側の「ロープで遊んでいて、足場の悪いいすが倒れたことも考えられる」と主張を退け、自殺と認定。</p> | あり |
| 18 | 1994/9/20 | <p>福岡県福岡市の中学校の女子生徒(中3・14)が、学校で担任教師から盗みの指導を受けたあと、帰宅途中に「私が全部悪いんです。もう生きていく資格がないから死にます。」という内容の遺書を残して、高層団地から飛び降り自殺。</p> <p>女子生徒は同級生の歓心をかうために、盗みをしてプレゼントを渡していた。</p> <p>女子生徒は、入学当時、友人がほとんどできず、「同級生が悪魔に見える」など</p> | なし |

| | | | |
|----|------------|--|----|
| | | と家族に話していた。 担任教師が指導を目的に始めた交換日記のなかで、「自分で自分の首をしめた」「何度も同じ事をし、信用を失われ。生きる価値もない人間なのだ。」「死ぬるものなら死んでしまいたい。」と書いていたが、担任の女性教師(36)は、日記を読んだが、「この年代の子はしかられた時の気持ちはこういうものかな」と感想を抱いただけで、内容について生徒と話し合うことはしなかった。 | |
| 19 | 1994/10/24 | 大阪府枚方市の私立女子高校の生徒(高1・16)が電車で飛び込み自殺。 クラスで約1週間前に、カバンが紛失する騒ぎがおき、一部の同級生からこの生徒が盗ったのではないかと声があがった。担任教師が母親を呼んで事情を話し、母親が本人に聞いたが、生徒は担任に「私ではない」と答えていた。 | なし |
| 20 | 1994/11/13 | 大阪府羽曳野市立河原城中学校で、ソフトボール部の副キャプテンの青木亜也子さん(中2・13)が、顧問の男性教師(35)らから叱責された翌朝、自室でユニホーム姿で自殺。 「おかあさん、ごめんな クラブもうつぶけれへんねん」という遺書を残していた。亜也子さんは、市外の中学校との練習試合で送球ミスなどが重なり、「同じミスばかりするな」と怒られ、途中で交替させられた。試合後、顧問の男性教師と他の2年生たちとともに、「明日の公式試合に来なくてええ。背番号も返せ。(試合に)出せへんからな」と言われた。その後の調べで、学校側が「部活動の指導の行き過ぎが原因だった」と認める。 | なし |
| 21 | 1995/8/4 | 長崎県長崎市で、県立高校の男子生徒(高3・18)が、両親あてに「何も悪いことはしていないのに、教師から怒鳴られ、目の前が真っ暗になった」「40分間怒鳴られた」「(ほかの生徒の前で)とんでもないやつだと言われた」と教師3人を非難する遺書を郵送し、飛び降り自殺。 夏休みの補習中、机やいすを運ぶ作業をした際、女性教師が運び終えた生徒に女子生徒を手伝うよう声をかけたが、男子生徒は素通りした。話を聞いて、担任教師が聞いたところ、男子生徒は「聞こえなかった」と返答。学年主任も、職員室で注意をした。翌朝、男子生徒は、「疲れた」と補習授業に行きたがらなかったが、担任教師から登校するようにと電話が入り、家族がタクシーで送り出した。 男子生徒は最近、耳の調子が悪く、病院で軽い難聴と診断されていたが、校長は、「難聴とはだれも知らなかった」と話した。県教委や学校は、「教諭側に行きすぎた指導はなかった」とした。 | なし |
| 22 | 1998/3/1 | 群馬県の中学校で男子生徒(中2・14)が自殺。「もう生きていく自信がない。みんなに迷惑をかけてマジごめん」「ゴメン、オレのせいでみんなヤベーことになってちまって……オレが死ぬ理由は、みんなに悪いから」などと書かれた遺書を残していた。 2/21 同生徒は、校内で友人ら8人でタバコを吸い、学校から反省文の提出を求められていた。教師に友人の名前を告げたことで責任を感じていたという。 | なし |
| 23 | 1999/11/27 | 北海道名寄市の道立名寄農業高校の寄宿先の学校寮洗濯室で、酪農科の男子生徒(高2・17)が、首吊り自殺。 11/26 夜、同校敷地内の寮で、男性教師(33)と男子生徒2人で、研究発表に | あり |

| | | | |
|----|-----------|--|----|
| | | 向けた原稿を準備していた。午後9時過ぎ頃、生徒がテレビに気を取られていたことに腹を立てて、教師が足を蹴ったり、頭を叩いたりするなどの体罰を加えた。生徒にけがはなかった。数時間後の夜中に自殺。 | |
| 24 | 1999/12/4 | 長崎県長崎市の私立海星高校の男子生徒(高2・18)が11階建てのマンション屋上から飛び降り自殺。 生徒は期末試験の1時限目テストでカンニングをしているのを教師に見つかり、「トイレに行きたい」と言って教室を出た。マンション屋上にいるのを通報で駆けつけた警察署員が約10分間説得したが制止を振り切って飛び降りた。 | なし |
| 25 | 2000/1/16 | 長崎県五島の富江町の中学校の男子生徒(中1・13)が町内の倉庫で首吊り自殺。 1/15 男子生徒は担任教師から服装などを注意され「なんで俺だけ注意されるんだ」などと反発。教諭ともみ合いになり、警察が駆けつけるなどの騒ぎになった。同日夜には、生徒は校長と担任教師に謝罪の電話をかけていたという。 | なし |
| 26 | 2000/9/30 | 埼玉県新座市立第二中学校の大貫陵平くん(中2)が、マンションの10階から飛び降り自殺。「たくさんバカなことをして もうたえきれません」「自爆だよ」などと書いた遺書を残していた。 前日、お菓子の臭いに気づいた教師が、生徒たちに問いただし、他の食べた生徒の名前も知らせよう指導。他のクラスの生徒を含めて6人の名前が上がった。また、ライターを学校に持ち込んで遊んでいた生徒がいたことも判明。 陵平くんはお菓子ももらって食べたことを自己申告していた。 会議室で12人の教師が、9人の生徒らから、お菓子を食べたかどうか、他にも食べた者はいないかなど、一人ひとりに確認し、その場にはいない生徒の名前も何人かあがり、部活中の生徒を教師たちが呼びに行くなどした。 翌日の夜、教師から自宅に電話があり、来週の学年集会の場で、リーダー格の生徒には、みんなの前で決意表明をしてもらうことや学校にライターを持ってきて生徒すべての保護者に学校に来てもらうことなどを話した。その夜に自殺。 | なし |
| 27 | 2002/3/23 | 兵庫県伊丹市の県立伊丹高校で、校内での喫煙を咎められ、学校から謹慎処分を言い渡された直後に、西尾健司くん(高1・16)が自宅近く建物から飛び降り自殺。 3ヶ月前、学期の期末テスト時、隣の席の友人に頼まれて答案を見せた。カンニングと認定されて、友人と一緒に1週間の自宅謹慎処分(健司くんにとって、初めての処分だった)。反省文、反省日記を書くように指導される。12/13から書き始めた日記を、終業式の前日に突然、春休みも続けるように言われる。 終業式のあと、健司くんは校内のトイレで1人でタバコを吸っていて教師に見つかり、母親も学校に呼び出された。校長は「ストレスがたまっただとは何や」と激しく叱責。学年主任も「家族も先生も裏切って」と叱責。生徒指導部長と担任にも叱られた。無期の自宅謹慎を通告され、家族で行く予定だったスキー旅行も禁止された。 | なし |
| 28 | 2002/3/25 | 群馬県高崎市の東京農業大学第二高等学校(東京農大二高)ラグビー部員金沢昌輝くん(高2・17)が、部活動でたびたび過呼吸の発作を起こしていたが、合宿当日に自殺。 ラグビー部の練習は長時間、かつ、監督からは激しく叱責された。ラグビー部の | なし |

| | | | |
|----|-----------|--|----|
| | | <p>休みは年間10日程度だった。1年生時には、部員上下関係により、一部暴力もあった。昌輝くんは1年生の9月に過呼吸の発作を起こしたあとも、何度かラグビー絡みで発作を起こしていたが、かなり激しい発作後も、練習に参加させられていた。家族には過呼吸の発作を起こしたことは知らされていなかった。</p> <p>夏合宿頃から、指導陣の昌輝くんに対するプレッシャーがきつくなっていたことや他の選手のミスを昌輝くんのせいだとして怒ったり、「お前バックスとして駄目だよ」「使えねえ」などの言葉を浴びせたりしたことが判明。(特定の部員に注意が集中することを部員たちは、「ハメ」と呼んでいた)</p> <p>2005/9/1 前橋地裁で、和解成立。</p> <p>【和解条項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同校がグラウンドに生徒の名前などを刻んだ石碑を今年中に設置する。 ・部活動が教育活動の一環であることを踏まえ、部員各自の人権を尊重した指導を行う。ラグビー指導に当たり、部員に体罰や差別的な取り扱いをしないことを確約する。 ・部員の健康や安全管理の徹底などに配慮した指導をする。 ・学校側が弔慰金500万円を支払う。 ・スポーツ推薦により入学した生徒が推薦対象となった部を辞めても同高校を退学しなければならないものでないことを認める。 <p>など。</p> | |
| 29 | 2004/3/10 | <p>長崎県長崎市の市立小島中学校で、安達雄大くん(中2・14)が、ライターとたばこをもっていたことを担任教師に見つかり、指導途中、トイレに行くと言って、校舎4階の手洗い場の窓から飛び降り自殺。指導されていた部屋の机から遺書を書き付けたノートが出てきた。雄大くんは、所属する部活が活動停止になるのを気にしていた。</p> <p>また、同校では、アンケートによる違反の告白や、他の生徒の違反を密告させる生徒管理・指導を行っていた。担任教師は月に2、3回程度の体罰を行っていた。</p> <p>2008/6/30、長崎地裁で、田川直之裁判長は、自殺の予見可能性を否定。「T教諭及びI教諭による雄大に対する喫煙指導は、不適切な面が認められるが、法律上の義務としての配慮義務又は防止義務に違反したとまでは言えない」とした。一方で、教師の指導と自殺との因果関係を認定した。</p> <p>市教育委員会は県教委に「転落死亡事故」として、自殺とは報告していなかったことが判明し、両親が事故死から自殺への修正などを求める要望書を市教委に提出。市教委は「判断する権能がないため修正できない」と文書で回答。</p> <p>2008/10/ 両親が、雄大くんが亡くなった2003年度の長崎県の公立中学生自殺者数が「0」から「1」に修正されたことを知り、市教委に問い合わせた結果、2007/1/10に市教委が「事故死」を「自殺」とする統計修正を県教委に報告していたことが判明(両親には修正を伝えていなかった)。</p> | なし |
| 30 | 2004/5/26 | <p>埼玉県所沢市の県立所沢高校の井田将紀くん(高3・17)が、中間試験でカンニングを疑われ、母親の携帯電話に「迷惑をかけてごめん」とメールを送り、飛び降り自殺。将紀くんは約2時間にわたって、教師5人に尋問されていた。その間、昼食や飲み物も与えられず、トイレ休憩もなかった。</p> | なし |

| | | | |
|----|-----------|---|----|
| | | 2008/7/30 さいたま地裁で棄却判決。 2009/7/30 東京高裁で棄却判決。 | |
| 31 | 2005/10/4 | 長崎県対馬市の県立高校の男子生徒(高1・15)が道路横のガードパイプにロープをかけ首吊り自殺。友人関係の悩みなどを記したノートが生徒の部屋にあった。 男子生徒は9月下旬から携帯電話のチェーンメールをめぐり、複数の生徒とトラブルになり、担任教師らが同日、男子生徒を指導。男子生徒は反省文を書いていた。担任らは母親を呼んで説明し、午後8時頃、母子で帰宅した。その後、担任が教室の黒板に「今までサンキュー」という言葉と生徒のイニシャルが書かれているのを見つけ、9時頃、電話で母親に生徒の様子に気をつけるよう、注意していた。 | なし |
| 32 | 2006/3/16 | 福岡県北九州市若松区の市立小学校で、翌日の卒業式に向けた準備や掃除を行った際、男子児童(小5・11)の振り回した新聞紙をまるめた棒が同級生の女子児童の顔に当たった。担任の女性教師が「謝りなさい」と怒鳴ったが、「謝った」などと反抗的な態度をとったため、男児の上着の襟をつかんで持ち上げ、床に押し倒し、左腕をねじり上げるなどした。男児は泣きながらペットボトルを床に投げつけて、教室を出て行った。担任は男児を追いかけることもなく、保護者にも連絡をしなかった。男児は帰宅直後に自宅で首吊り自殺。 男児は昨年秋から担任教師と折り合いが悪く、集中的に体罰を受けていた。「学校をやめたい」と泣きながら帰宅したこともあった。 | あり |
| 33 | 2007/2/1 | 千葉県松戸市の市立中学校の男子生徒(中2・14)が、マンション8階から飛び降り自殺。 男子生徒は2年生の1学期頃から部活内で「疎外感を感じる」と顧問に訴えていた。 1/31 同学年の他の生徒7人とともに、1人の生徒を殴ったり、足をかけたりして肩の骨を折るけがを負わせた。8人は学校の指導を受け、被害生徒に謝罪していた。男子生徒が自殺したマンションは被害生徒の住んでいるマンションだった。 | なし |
| 34 | 2007/2/26 | 大阪府豊中市の私立大商学園高校の体育館内3階の放送室内で、岸祐太朗くん(高1・16)が柔道着の帯で首吊り自殺。 祐太朗くんは前日、教室で自分の首を柔道着の帯で絞めて同級生に制止され、担任教師から「そんなことしたらあかん」などと声をかけられていたが、遺体発見の午後にはじめて校長らに伝えられた。 祐太朗くんは学校の指導方針に不満をもらしていたほか、校内トイレであった不審火に絡んで犯人と疑われて疲れていたようだったと家族は話す。 学校側は「調査はしたが、放火を疑った事実はない」と否定。 | なし |
| 35 | 2008/7/20 | 北海道の道立稚内商工高校の男子生徒(高2・16)が、携帯電話の掲示板にほかの生徒の中傷を書き込んだとして、計6人の教師らから約3時間にわたって事情を聞かれ、停学処分の連絡を受けた後、自殺を図る。8/4 死亡。 生徒はノートに3ページにわたって、「償いについて自分は死ぬべきだと思う」「自分は殺す。死ね。と軽々しく書いたので(中略)ケジメをつけるために死のうと思う」「おれって先生たちにも信用なかったんだね」「お前の罪は重いと。死ねと。 | なし |

| | | | |
|----|-----------|---|----|
| | | 他の先生からは、お前はバカか？と言われました」「罪が重すぎて自分には耐えられない」「僕に停学は重すぎる」などと書いていた。 学校は、遺書に書かれていた「お前の罪は重い。死ね」「バカか」「アホか」の言葉を否定。「本校の職員がそんなことを言うはずがない。事実と違うことを書いている。指導は適切だった。事情聴取が本人を追いつめたとは考えられない」と会見で話した。 | |
| 36 | 2009/1/19 | 福岡県福岡市の市立内浜中学校の男子生徒(中1・13)が、登校中に自宅近くのマンションから飛び降り自殺。 男子生徒は、昨年6月に担任教師から、同級生をいじめているとして、ひざを4回けられ、げんこつで頭を1回たたかれた。 1/16には、2回忘れ物をしたとして、クラスで担任教師に頭をげんこつでたたかれていた。 | あり |
| 37 | 2009/7/15 | 佐賀県小城市の市立中学校で、「女子トイレに落書きがあった」として、担任教師に事情を聞かれた女子生徒(中1)が、校舎2階から飛び降り、前歯を折るけがをする。 前日、女子トイレに落書きが発見されたことから、教師が落書きをしたものは名乗り出るよう呼びかけたが、反応がなかった。アンケートを実施したところ、女子生徒を含む複数の名前があがった。担任教師が2階の学習室で一対一で事情を聞き、数分席をはずしたところ、部屋の真下に倒れているのが発見された。 | あり |
| 38 | 2009/8/21 | 京都府亀岡市の市立南桑(なんそう)中学校で、校内1階のカウンセリングルームで生徒指導の男性教師(31)から30分にわたり一対一の生徒指導を受けていた男子生徒(中1)が教室を抜け出し、野外の3階渡り廊下から飛び降りた。意識不明の重体。 | なし |

事件詳細は、武田さち子作成「日本の子どもたち」 <http://www.jca.apc.org/praca/takeda/> にて。
いじめ自殺とダブっているものもあり。